



学塾通信 1月号（第61回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である。～

授業調整日のご案内

新年は1月4日(木)からです。

1月8日(月)は祝日ですが授業を実施致します。

2学期末の期末テストが返却され、多くの生徒から「得点が上がった！」という嬉しい声を聞くことができました。特に印象的だったのは、1学期の中間テストから毎回少しずつ点数が上がり、入塾時から比べると100点ほど点数が上がった生徒です。彼女の取り組みは、テスト前から点数が上がる気配を感じさせるものでした。“勉強のやり方”を身につけた彼女は、これからますます伸びることでしょう。初日からの取り組みを振り返っても、手ごたえを感じる人が多いテスト前学習会でした。

今回改めて感じたことがあります。それは、**点数を上げるための秘訣は日々の学習にある**ということです。「テスト前は頑張ったのに、思ったような結果につながっていない」という現象の一番の理由は、テスト1週間前からの勉強では追いつかないほど、日々の学習内容が定着できていないことにあります。あるいは、これまでの学習においてやり残しがあるということも影響しているでしょう。

私も普段から、学習が追いついていない生徒にはテスト前でなくても時間を見つけて勉強をしに来るように伝えています。そうすることで、テスト前に理解できないところを少しでも減らしておきたいからです。ですが、なかなか継続して教室に来ることが難しいようです。なんとか足を運んでも、「もう帰っていいですか？」という会話になってしまいます。伸び悩みの理由はまさにこれです。このような「わからない、授業が理解できない、つまらない、テストができない」というサイクルから抜け出すには「できるようになりたい！」という強い意志が必要です。ひとつずつ理解できていないところをクリアすることで、「わかる、授業が理解できる、おもしろい、点数が上がる」という好循環が生まれます。一度良いサイクルにはまれば、あとは本人に任せられることができるようになります。

過去には、入塾時に100点台でも、努力の末に400点を越える成績を取るようになった先輩もいます。「今回は満足のいく結果ではなかったけれど、もう少しできるようになりたい。」そう感じている人は、学年末テスト前ではなく、今から復習を始めましょう。塾に来て弱点を克服する勉強をしましょう。毎日ひとつでも新しい知識を得ていくことが大切です。



○「すらら」受講生のみなさんへ(自立学習コース・英検対策コース・通い放題コース受講生)

12月から「すららカップ」が開催されています。

今回で14回目を迎える「すららカップ」は、偏差値や点数ではなく「総学習時間」といった、“どれだけ努力したか”の努力指標で、学年やエリアを問わず、すべての「すらら」利用者同士が競い合う大会です。

従来の学習に対する評価は、勉強に費やした努力が目に見える形で残りません。そのため、偏差値や成績などの結果でしか評価ができず、勉強の得意な生徒だけしか、勉強における成功体験を得ることができませんでした。しかし、「すらら」では学習時間や学習量が記録に残るため、一人ひとりの積み重ねた「努力」の量を正當に評価することが可能です。

教育経済学の分野においても、近年、報酬や評価を「成果(アウトプット)」より、「努力(インプット)」に対して与えるほうが、学力向上に高い効果があることが実証されています。

すららを受講しているみなさん、学塾生初の「すららカップ」入賞を目指して頑張ってください！！

【第14回 すららカップ概要】

◆実施期間:2017年12月1日(金)~1月31日(水)

◆対象学年:問わず

◆科目:英語・数学(算数)・国語

◆範囲:小1~高3の履修範囲

◆開催部門・審査基準:

【個人部門(総学習時間の全国上位20名)】

・チャレンジW30賞(ひと月30時間以上の学習時間を2カ月連続で達成、もしくは、期間中毎日1ユニット以上の学習達成の、いずれかに該当した全ユーザー)

・低学年賞(小学1年生から3年生の受講生対象、総学習時間の全国上位20名)

【チーム対抗部門(3名1組によるチームの、総学習時間の全国上位20チーム)】

◆賞品:(個人/チーム対抗部門)※その他部門でも各賞品を用意

1位:ASUS Chromebook C200(ノートパソコン)

2位:パロット ミニ ドローン ローリングスパイダー クワッドコプター

3位:チャムス デイパック

◆最終結果発表:2018年2月予定

☆中学受験生☆

○受験生のみなさんへ

次月の学塾通信では「6年生のみなさん受験お疲れさまでした。」という記事を書いていることでしょう。ようやくここまできましたね。

さて今月は、入試までの仕上げ方についてアドバイスをしておきます。これから入試までは新しい問題に手を出さないでください。「今までやってきた問題集・過去問の反復練習」と、「漢字・ことわざ・四字熟語・理科・社会の暗記確認」が最後に取り組む内容です。

具体的には、赤本・新中間・サーパス・漢字・計算 300 日・ズバピタ理科を入試当日まで繰り返し行ってください。入試当日には見慣れた先生が学校に激励に来てくれていますので、元気に挨拶をして試験に臨みましょう。当日みんながベストを尽くすことができることを、心から願っています。

学塾 5 期生、全員合格で高校受験生にバトンをつなぎましょう！

○新 6 年生になるみなさん(中学受験生)

いよいよ、入試まで 1 年となりました。おそらく、この 1 年は今までで一番勉強する年になります。毎週の授業を大切に入試の準備をしていきましょう。

保護者のみなさま、中学受験は戦略によって合格率が大きく変わる試験です。志望校の出題傾向・お子様の得意不得意を見ながら、個々に合ったアドバイスをしていきます。ときには厳しい指導をすることもありますが、1 年後に笑顔で受験を終えることができるよう全力でサポートしますので、どうぞよろしくお願い致します。新年度からは、学塾の授業の前後での自習と土曜日の自主学習は原則必須となります。授業がない日でも積極的に学習に来るようにしてください。

☆高校受験生☆

「絶対に合格できる」、あるいは「絶対に受からない」と考えてはいけません。入試に“絶対”はないからです。楽観的になりすぎてもだめですし、悲観的になる必要もありません。心のバランスが大切です。

先月号の学塾通信でも書いたように、入試当日に「これだけ頑張ったのだから、どんな結果になっても受け入れるぞ！」という強い気持ちで試験に臨めるような準備をしておくことです。今年の 3 年生は比較的楽観的な考え方の生徒が多いように感じています。「すべり止めだから、入試対策はしなくてもいい」という声も耳にしましたが、そのような考え方はやめましょう。一発勝負の入学試験です。しっかり準備をして臨みましょう。

○中3 入試直前特訓について

入試直前特訓は12月23日(土)12:05～が初回です。学塾での最後の特別講座がスタートします。塾生全員の第一志望校への合格を目指し、学塾講師陣総出で取り組んでいきます。

○模試のご案内(今回は希望者のみの受験です。)

中3 五ツ木模試 1月21日(日)

希望者のみの受験です。希望される方は申込書を提出してください。

☆高校生のみなさんへ☆

高校生のみなさんを見ていると、中学生のころに比べるとずいぶんと落ち着きが出て、高校入学以降の成長を感じています。自ら進んで学ぶ姿勢ができていることが本当に素晴らしいです。

受験生のみなさん、入試まで残りわずかですね。今まで取り組んできたことをもう一度確認しましょう。万が一、今までできていたことができなくなっている、覚えていた知識を忘れている……ということがあったとしても落ち着いてください。改めて知識を確認するプランを立てれば大丈夫です。(実は私も、かつて入試直前にそれまで覚えていたはずの日本史の知識が抜けていることに焦ってしまった経験があります)

受験生のみなさんには、入試当日に自分で星勘定ができるようになって試験に臨むことをお勧めします。以下は星勘定の具体的な方法です。

- ・およその合格点を把握し、自分の得意不得意に合わせて各教科で取りたい点数を決めておく。
- ・各教科の出題傾向に合わせて、出題される問題のうち取るべき問題の目安をつけておく。
- ・入試当日は全体の問題を確認しプラン通りに解き進めていく。

もちろん、すべてがプラン通りに進むとは限りません。取れるはずだった問題で失点する、無理して取らなくてもいい問題で正解することができた、など様々なケースがあると思いますが、トータルで合格点を越えるための星勘定(調整)を試験内で行うのです。そうすることで戦略的に試験に臨むことができます。

たくさんの方をご紹介いただき、誠にありがとうございます。

1月から3月まで 学塾5周年キャンペーンを実施致します。

その間、お友達紹介キャンペーンは実施致しません。ご了承ください。

【新公立中3生の募集】	2名
【新公立中2生の募集】	2名
【新公立中1生の募集】	学塾小学部からの継続者を含め 20名
【中学受験生 新小6の募集】	4名
【中学受験生 新小5の募集】	5名